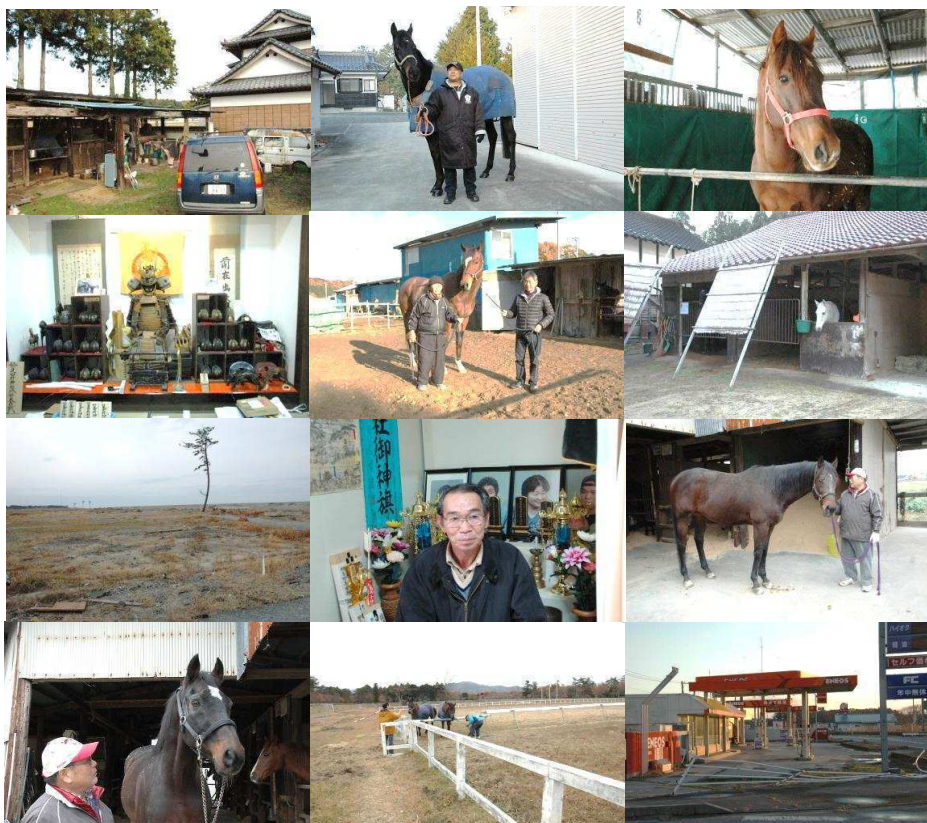


# 2011年東日本大震災

## 南相馬市被災馬現況調査報告書

被災時に南相馬市に繋養されていた功労馬35頭の  
震災後の動向と飼養者の現況を調査しました



調査期間 2012年11月29日 ~ 12月2日

調査区域 福島県相馬市

福島県南相馬市 鹿島区 原町区 小高区

競走馬のふるさと案内所

## 南相馬市の被災地状況経過報告 1

3月11日の震災当時、福島県内には過去に中央競馬重賞の勝ち鞍を有する功労馬が38頭繫養されていました。

南相馬市内には35頭繫養されていたが、そのほとんどが「相馬野馬追い祭り」に参加する目的で母屋の隣の少数の馬房で家族同様の扱いをされていた。

当案内所で昨年3月24日、震災の2週間後にまとめた段階では、12頭が既に県内外に避難、2頭が消息不明だったが、4月30日時点で不明だった1頭は県内に避難中、鹿島区のハリーズコメント号が家族と一緒に流され死亡していることを確認。一方、功労馬以外では、海岸近くで100頭以上の馬が死亡した様子との報告も受けていた。

震災直後、市内の飼養者は自宅から避難所に家族を移動し、同時に多くの馬の救済に向かう人が多かった。それから2週間ほどは個々に飼料の確保や知人などを辿って馬の避難先への移動などに奔走し、ライフラインの閉ざされる中、家族と飼養馬の生き抜くべく環境を模索していました。

また、この時期には全国の乗馬クラブや個人のファンからも救援の手が回り、救援物資の多くが相馬市中村神社内のNPO法人「馬とあゆむSOMA」に集められボランティアの手伝いを受けて各飼養者に届けられました。

その後、自治体や各団体の支援活動も始まりましたが、さらに追い討ちをかけたのが原発の放射能問題でした。

南相馬市の南部に位置する小高区全域と中間の原町区の一部は、原発20<sup>km</sup>圏内で12日には避難指示地区となり、15日に30<sup>km</sup>圏内に含まれる原町地区と鹿嶋区の一部に屋内退避指示が発令。多くの方が避難所での仮住まいを余儀なくされた。4月22日には30<sup>km</sup>圏内の屋内退避は解除されたが、この間、飼養者の人たちは避難所から毎日馬小屋に通って世話をしていた。

この時期まで、飼養者は個々に馬の避難先を探してその都度移動していましたが、当案内所で4月30日にまとめた限りでは、功労馬の避難先は南相馬市及び福島県内に5頭、茨城県2頭、栃木県3頭、千葉県3頭、岡山県2頭でした。

また、功労馬以外では、この時点で県内や北海道を含めて数10頭が支援を受けて移動。その後、各自治体の活動も具体化して北海道日高町が51頭(功労馬は12頭)を受け入れるなど、全国の支援を受けて避難待機地区の原町地区の馬を中心に多くの被災馬が避難先を確保することができました。

原町区は屋内退避指示の解除後、新たに計画的避難区域と緊急時避難準備区域として設定されたが、区外に一時避難していた人が戻り、日常生活に戻りつつあった。5月になると「相馬野馬追い」を生涯の礎としている飼養者たちは、一千有余年の伝統を守ろうと立ち上がり、その7月、出場頭数82頭と規模は最小限のものとなったが東日本大震災復興「相馬三社野馬追」としてお祭りは実施された。

年が明けた平成24年、小高区は前年5月より立ち入りは許可されたが避難指示は解除されず、冬の訪れを前に多くの商業施設や民家が1年9ヶ月もの間空家となって異様な雰囲気をもたらしている。

また、原発20<sup>km</sup>圏内の一部を除く原町区は、津波に襲われた海岸地区が整地されたままの状況だったが、市街地は平常の生活を取り戻したように思われた。

現在、除染は進んでいるが、「山側から流れ込む水や落ち葉の影響で作業もイタチごっこ」(南相馬市農水課)と安全な放射能レベルには追いつかない。郊外から山側の地区は、被災以前の姿を保つが汚染された草木の除去には相当な手間と時間が必要とされそうだ。

北部の鹿島区は放射能の影響は比較的少ない。しかし、多くの住民と馬が犠牲となった海岸地区は、以前のような緑の防風林や草木の生い茂ったのどかな景色はなく、瓦礫を整地しただけの何も無い無機質な様相を見せている。

## 被災地の状況経過報告 2

平成24年7月28日から30日まで、被災者の人たちが心の礎とする国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追い」が再び開催された。

出場頭数386頭(被災前の22年は480頭)。6月時点の南相馬市内の飼養頭数は213頭(伝貧検査数から)で被災前は249頭(同)と数頭の新規入厩馬を考慮しても現在は8割強の馬が南相馬に里帰りしていることとなる。

今年の野馬追いは、相馬市や県内外からも170頭程参加して行われた。

また、同市の被災前の人口は71,561人、被災後は約1万人程(市農務課の話)に減少。今年の11月22日現在は48,872人と震災前の7割近くの人口に戻った。

しかし、現在、警戒区域が続く小高区は人口0人(被災前は12,842人)、原町区・鹿島区の仮設住宅居住者5,391人、知人宅・借り上げ仮住宅居住者5,246人と震災からの復興にはまだ道程は長い。

(以上統計数字は南相馬市経済部農水課振興係の協力による)

被災馬に関しては、これまで南相馬市から県外に避難し、現在戻っていない馬は譲渡されたものが多いが、個々には新規に導入を希望する人も見受けられ、今後は増えそうな気配も見受けられる。

この土地では伝統行事に不可欠な馬は家族同様に大切に扱われているが、地域での馬に対する扱いに文化の違いを感じさせられる。

競走馬の引退後の余生についての論議は続くと思われるが、この土地に引き受けられた馬は手厚く養われている。

「相馬野馬追い」の中心となるプログラムの一つで雲雀ヶ原の1,000mのコースで競う「甲冑競馬」があるが、重賞勝ち鞍を持つ功労馬が良い成績を収めているという。重賞馬は周囲から敬意を持って扱われるが、BTCの功労馬助成事業が飼養者たちを支援しており、功労馬たちがお祭りを盛り上げて復興の一助をなしているようだ。



# 飼養者と功労馬たちの現況 1 「相馬市」「鹿島区」

## 相馬市

相馬中村神社	中村字北町中村神社	
マイネルアムンゼン	11年4月 小高区菅野牧場より入厩	'12年12月原町区仲山トレセンに移動
マキバスナイパー	11年4月 小高区菅野牧場より入厩	'12年12月原町区仲山トレセンに移動

相馬三妙見の一つで、中村城境内にあり国の重要文化財の指定を受ける同神社。三十代目の社主となる田代麻紗美さんがスタッフと共に飼養している。震災当時前よりNPO法人「馬とあゆむSOMA」を運営しており、震災時には田代さんたちは、野馬追いに欠かせない馬を助けようと避



田代さんとマイネルアムンゼン  
来た時は「壁を向いて涙を流していた」(田代さん)が昨年の野馬追御行列で総大将を乗せ、今年は甲冑競馬で2着と活躍。

に行った。  
その後、全国から馬の飼料など救援物資が集まり、ボランティアの協力を得て被災馬の元に届けていた。

田代さん自身も30頭ほどの馬の亡骸を見たという。その中で、2頭のオーナー、小高の菅野さんも馬の避難先を探していたが知人の紹介で無事、田代さんに引き受けられ(現在、仲山トレセンに移動)

田代さんは、「この馬たちを思い出して馬の余生を知っていただければ良いですね。そして、この震災を忘れないで貰いたい。」と訴える。

マキバスナイパー  
「他馬に喧嘩を売ったり、マナーを守らないヤンチャな子ですね」と田代さんは笑うが、訪れるファンは多いという。



代々家宝に残る甲冑装束。



## 南相馬市

### 「鹿島区」

荒 正人	角川原字北河原	
ロードアトラス	移動無く被災時より在厩	'12年9月 熱中症のため死亡

この地域は、比較的災害の影響は少なかった。  
現在、放射能の影響も少なく震災時は仲間の救済に奔走していたようだ。ロードアトラスもこの時点では元気だったが、この夏の猛暑で体力が落ち9月に死亡した。

現在、荒さんは野馬追いのために1頭を飼養。また、家族や家屋、厩舎など一切を失った菅野長八さんの馬を一頭預かっている。長老の長八さんにはお祭りの指導を受けているという。  
野馬追いについて尋ねると、語りきれないと言った表情で笑みを返していた。



ロードアトラスが居た母屋の横にある馬房 この地域の代表的な馬の飼養管理状況。

## 飼養者と功労馬たちの現況 2 「鹿島区」

**菅野長八**  
ハリーズコメット

南右田字谷地

被災時に母屋と厩舎が津波で流失。同馬も流されて死亡。

被災時に菅野長八さんは職場に、奥さんは近くに外出していた。家には、息子さん、娘さん、お祖母さんの3名と6馬房には馬たちが。

「家のやつは津波の情報をすぐに知らせようと家に戻ったらしい。息子は家と厩舎を歩き来していたと、避難した隣の家の人が話してくれた。馬のことが気になっていたのだろうね。・・キツイよ。」と被災の様子を語る長八さん。

一瞬で流されたであろう家族と馬たちへの悲しみは癒えない。

長八さんは被災直後、行政の指導もあり一時新潟へ避難したが、家族たちを探したいと直ぐに戻り捜索にあたった。

家族2名とハリーズコメットはまもなく発見できたが、お祖母さんと息子さんは行方不明のまま。「息子は、(野馬追いで)震災の前の年、神旗争奪で神旗を取ったんですよ」と、その様子を撮った写真の先頭にいる息子さんを指差す。

昨年の野馬追いは、さすがに参加する気力を失った長八さんは今年、この地区(北郷)の侍大将として復活した。「息子と娘も参加して、家のも(奥さん)、祖母さんも楽しみにしていた。家族の想いがあるのでやることにした。」気持ちはまだ整理できない様子だが、野馬追いを礎に生きて行くことを選んだ。



祭壇の前の菅野長八さん  
ここに座るときが一番落ち着く様子だ。  
(仮設住宅で)



長八さんの家があったと思われる谷地の災害地  
こもりとし防風(潮)林は面影もなく1本の杉が生きながらっている。



現在、野馬追いに参加する馬を1頭荒さんに預けている。  
荒さんをはじめ若手の世話役として長八さんの存在は大きい。

侍大将として復活。  
横の青い旗は、流失した代わりとして実行委員会が寄贈したものの。

帰り際、同行した河村清明氏に一瞬の笑顔を見せていた。  
(仮設住宅の玄関で)



**ハマナ牧場(濱名邦弘)**

小山田柿ノ内

マイネルシーガル

被災直後千葉県香取市に移動し、'11年5月に帰厩

地震で屋根の瓦が落ちたが、比較的被害は少なかった。

マイネルシーガルも状態は変わらなかったが、放射能の影響が心配で大学時代の獣医仲間のところまで2ヶ月休養させたという。本馬は「野馬追いは生活のサイクルで馬は生活の一部」と語る濱名さんに大事に扱われている。

日大馬術部に籍を持った濱名さんは、近くに運動場を設けて日頃から乗馬を楽しむが「重賞馬は乗り味が違うね」と満足そうに笑顔を見せていた。

立派な母屋と土蔵は歴史を感じさせるが、野馬追いには四代で参加したこともあるそうだ。今年は軍者という役付の濱名さんを乗せ、野馬追いの御行列で勇姿を披露したという。



洗場のマイネルシーガル  
毛艶も良く体調も良好。

## 飼養者と功労馬たちの現況 3 「鹿島区」「原町区」



野馬追いで使用される  
甲冑装束は代々引き継  
がれる

市役所に務める濱名さ  
さんは早朝の手入れに余  
念がない



### 「原町区」

**大瀧馬事苑(大瀧康正)** 北原字平

ストロングブラッド 被災後、茨城県常総ホースパークに移動

マーベラスタイマー 栃木、会津に一時避難 '11年8月北海道日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩

タマモヒビキ 栃木、会津に一時避難 '11年8月北海道日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩

ナイスナイスナイス 栃木、会津に一時避難 '11年8月北海道日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩

大瀧馬事苑は、原発20<sup>キロ</sup>以内の避難区域にほど近いところに位置する。震災当時、倉庫の屋根が落ちたが、家屋や馬房に大きな損傷も無く皆無事だと語っていた大瀧康正さん。

高校時代から乗馬クラブに入り、選手・監督として数多くの大会に参加して、息子さんも乗馬で活躍した。

この環境が、今回の避難に大いに役立った。ストロングブラッドは被災直後の3月に栃木の乗馬クラブへ、他の3頭は4月に会津の知人の所へ移動。一度帰厩後、8月に北海道日高町に移動と順調に避難体制が取れた。3頭は今年の5月に戻って野馬追いの準備に入る事ができた。

野馬追いの馬と騎乗者の訓練は3ヶ月ほど前には始まるが、大瀧さんの乗馬指導と練習場がそこに大きく貢献している。

また、大手製作所に勤務していた大瀧さんは、被災前、農業者として田畑を作っていたが原発問題で休止中。練習場の前には、休耕中の田畑が広がっている。

苦労の多かった1年だったが、今年の野馬追いには、息子さんや知人たちが多く参加し協力してくれたそうだ。



タマモヒビキ  
人懐こい 体調も良さそう



マーベラスタイマー  
元気 少し太り気味



大瀧馬事苑の練習場  
後方の倉庫の落ちた屋根が修理されている厩舎は2箇所に分かれるが頑丈な造りで被害はなかった



ナイスナイスナイスと大瀧さん  
ヘイキューブをバリバリ食べる元気者

## 飼養者と功労馬たちの現況 4 「原町区」

**仲山トレーニングセンター(佐藤徳)** 深野仲山宮平  
 グラスワールド '11年8月日高町法理牧場に移動 '12年5月帰厩  
 メジロマイヤー '11年8月日高町法理牧場に移動 '12年5月帰厩

仲山トレセンは常盤自動車道の高速道路入口近くにある。空家となった農家を利用して、自前でトレーニング場と厩舎を造り上げている。すべて野馬追いに参加するためのもので、この地区(中郷)の参加者の馬の預かりや貸出、練習場として地域の拠点となっている。

被災時には、功労馬2頭の他に7頭の馬がいたが、馬も施設も無事だった。しかし、下手にある自宅の屋根の瓦が300枚程も割れ、この修理だけでも4日を費やしたという。

避難指示が出て一家は山形や宮城に避難したが、その間は仲間が通って馬の面倒を見ていた。佐藤さん自身も間もなく戻り愛馬の世話をした。餌は十分に確保していたので心配しなかったが、その後、馬は日高町へ一時避難することになった。

「馬が好きなんだよ」と言う佐藤さんの所へ近々中村神社からマイネルアムゼンとマキバスナイパーが入厩する。

オーナーである小高区の菅野牧場さんが、近くに置いてすぐ会えるための移動と思われるが、佐藤さんは、空家の厩舎に面した二つの居間を馬房に改築した。昔の民家なので壁の上部には欄間が残っている。世界に二つだけの馬房が2頭を待っている。

「1年を通して馬を飼っているのは、信頼関係を持つためだね。それでないとは本番で動いてくれない。」と佐藤さん。

野馬追いの本格的な訓練は3ヶ月前程から始まるが、地域の方は年間を通して利用する。出陣の日には自宅から甲冑を装い旗指物をなびかせ出陣。5~7時間かけて、三地区の各妙見神社の出陣式に向かう。「今年は仲間が10頭の馬を並べてここから出陣した。」と佐藤さんは誇らしげだった。



自前で造り上げたトレーニング場  
この地区の人馬の訓練拠点に



グラスワールド  
野馬追いでも活躍する元氣者



メジロマイヤー  
「少しうるさくてね。自分が乗っているよ。」と佐藤さん

**TAKANO厩舎(高野徳明)** 牛越字東北  
 トーセンシャナオー '11年8月日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩  
 メイショウムネノリ 今野厩舎より '11年8月日高町法理牧場に移動 '12年5月帰厩 一時同厩舎に入厩中

郊外の複合ショッピングセンター近くにあるTAKANO厩舎。実家の裏に厩舎があり、高野さんは自宅から通っている。近くに運動場があり、日頃から高野さんや息子さんが練習している。野馬追いでは役付の螺役長で、螺を吹く練習も



欠かせない。  
 今年は空いている畑に牧草の種を蒔いた。放射能の汚染の無い草を食べさせたいと期待している。

メイショウムネノリ  
今野厩舎から一時入厩中



トーセンシャナオー  
「ファンから支援金を送って貰いました。」と高野さんは感謝する

## 飼養者と功労馬たちの現況 5 「原町区」

松浦ライディングセンター(松浦秀昭)	下高平字谷中
サブジェクト	震災時より移動なし
ノーリーズン	一時宇都宮大学に移動 '11年5月帰厩
キネティクス	震災時より移動なし
ワンダフルデイズ	震災時より移動なし
ゴッドオブチャンス	震災時より移動なし
ブレーブテンダー	震災時より移動なし

震災直後から、屋内退避指示、計画的避難区域と指示・設定が変更されてきた同地区だが、松浦さんは、一貫として馬から離れないと主張してきた。

同センターは、国道6号線に沿うように運動場があり、その奥に厩舎、自宅の家屋、畑と続いている。家屋の一部や倉庫に被害があったが、本人が建てた厩舎は何ともないと自慢する。

津波は畑の200m先まで押し寄せてきたそうだ。「馬がいるし逃げようとは思っていなかった。」と言う松浦さんは、海岸付近に高台があり津波は同センターを避けて両サイドに来るだろうと読んでいた。幸い大きな被害はなかったが、一時期、放射能の汚染を危惧してファンの見学を断っていた。

被災時は農業を本業としていたが、「今は野菜を作ることも出来ないのも、もっぱら馬の面倒をしている。野馬追いも引退して、若いもんの練習や馬を貸したり世話役をやってるよ。」と語る松浦さん。日頃から福島大学の乗馬クラブとの交流もあり、そのついでノーリーズン1頭は一時宇都宮大学に避難させた。皐月賞馬に敬意を示したようだ。

6頭の功労馬を飼養する松浦さんにとってはBTCの引退功労馬展示事業の助成金が、大いに助けとなっている。昨年より減額されたが、「なんとかなると良いけれど・・・馬はやめられない」とやはり馬が好きでしょうがないようだ。子供を扱うように馬を厩舎から出してくれた。



サブジェクト



ノーリーズン



キネティクス



ワンダフルデイズ



ゴッドオブチャンス



ブレーブテンダー

※馬を引いてくれたのが松浦秀昭さん



## 飼養者と功労馬たちの現況 6 「原町区」

<b>ホシファーム(星 英二)</b>	高倉字志津
ランザローテ	栃木県に一時避難後帰厩 '11年9月日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩 7月死亡
ブリリアントロード	栃木県に一時避難後帰厩 '11年9月日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩
メイショウレグナム	栃木県に一時避難後帰厩 '11年9月日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩
マンボツイスト	栃木県に一時避難後帰厩 '11年9月日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩

ホシファームは郊外の丘陵地帯にある。肉牛で生計を営む星さんの実家の敷地内にあり、地震での被害は少なかったが放射能の影響を受け、近くの県道では除染作業が行われている。星さんも自ら厩舎回りや運動場の土を取り除き除染をしたが、雨や落ち葉で周囲の放射能が舞い込み苦労を重ねてきた。

災害当初、避難所に仮住まいをしながら自己所有の馬運車で被災馬の避難に県内外を走り回っていたが、日高町への被災馬の運搬もかって出た。案内所でも被災直後から現地の情報収集に協力を頂いていた。

星さんは4頭の功労馬の他に4頭の自己所有馬がいた。全馬無事避難できたが、ランザローテは、帰厩後、体調を悪くして死亡。

苦労を重ねた星さんだったが、昨年、今年と野馬追いの開催を誰よりも願って活動したひとりでもあった。今年の5月に被災馬の受け取りに来道した際は、「今年は小高を含め以前の形に戻せそうですよ。」と、笑顔を見せる一方で「家族を失って、馬も甲冑装束も馬具も失くし気持ちを立て直せない人もいる。」と仲間を思いやり寂しそうな言葉を残していた。

今年の7月、「相馬野馬追い」は386頭が参加、159,700人の観客を集めて行われた。



母屋の横にある厩舎  
この地域は瓦葺の馬房が多い



ホシファームの運動場  
除染に苦労したが、今年も地域の人が利用した



ブリリアントロードと星さん



メイショウレグナム



マンボツイスト

### 南相馬ふれあい牧場(門馬清人)

トーセンダンディ	被災直後に栃木県千本松牧場に移動 '11年6月帰厩
ペガサス	被災直後に栃木県千本松牧場に移動 '11年6月移動先で死亡
エンゲルグレーセ	被災直後に栃木県千本松牧場に移動 '11年6月帰厩
ユビキタス	被災直後に栃木県千本松牧場に移動 '11年6月帰厩

「相馬野馬追い」で、宵乗り競馬、甲冑競馬、神旗争奪戦が行われるメイン会場が原町区の雲雀ヶ原。同牧場は、この会場から車で5分もかからない県道沿いにある。「四代に渡って野馬追いのために馬を飼ってきた。」と門馬さんは笑う。「今年は親父から、息子、兄弟、孫と家族7名で参加したんですよ」と誇らしげに喜ぶ。

地震の時は、揺れもひどく馬を田んぼに放して逃げようとしたが、幸い難を逃れ家屋に大きな損傷もなく、馬も無事だった。

## 飼養者と功労馬たちの現況 7 「原町区」

厩舎の周りには、馬具や手入れ道具が整理されて置かれて、蹄鉄を履かない馬たちは綺麗に削蹄されている。牧場が傾斜地にあるので運動場はさほど広くない。しかし、此処に訪れるファンも多く、門馬さんは状況を見ては馬に乗せてあげる。もちろんのことファンは喜び、忘れられない思い出となったとたよりが届く。



南相馬ふれあい牧場

門馬さんにも震災時の辛い思いがある。「弟の嫁さんが流されて死にました。弟は家族を逃がし嫁さんと二人で残り、津波に備えて少しでもと準備をしていたのですが、結局二人共流されて弟だけが一人助かった。弟は大きな津波が襲ってくるのを見たと言っていました……」今年、弟さんは野馬追いを楽しみにしていた奥さんを弔うために、避難先から甲冑をまとい家のあった場所に行き、奥さんに見送られて出陣することにした。これを聞いた門馬さん家族や仲間も遠くから参加し同行したそうだ。門馬さんの胸の内には、この1年と8ヶ月のことが走馬灯のように過ぎているようだった。



トーセンダンディと門馬さん



エンゲルグレーセ



ユビキタス お父さんと

### 今田賢一 北原字平

アンドウオール 被災直後に岡山市グレースライディングクラブへ移動

ディープサマー 被災直後に岡山市グレースライディングクラブへ移動

2頭は被災後岡山県のグレースライディングクラブへ移動し、現在も元気になっているそうです。

今田さん所有馬は被災時に功労馬の他に6頭程いましたが、同クラブや水戸市の乗馬クラブ、那須市の乗馬クラブ等に移動しています。

### 前田ステーブル(前田敏文) 本陣前

フジサイレンス 被災直後に千葉に移動 一時帰厩後那須郡プレーヴステイブルに移動

アドマイヤフジ 被災直後に千葉に移動 現在県外に移動

フジサイレンスは移動先のプレーヴステイブルで元気になっているとのこと。

アドマイヤフジは一時帰厩しましたが、現在、県外の牧場で元気になっているそうです。

### 今野厩舎(立川春男) 陣ヶ崎

メイショウムネノリ 11年8月日高町五輪育成牧場に移動 '12年5月帰厩 現在一時TAKANO厩舎に入厩中

現在、一時的に移動したTAKANO厩舎で元気になっています。

## 飼養者と功労馬たちの現況 8 「小高区」

### 「小高区」

**菅野牧場(菅野 秀)** 小谷字入道草

マイネルアムンゼン 11年4月相馬中村神社に移動 '12年12月原町区仲山トレセンに移動

マキバスナイパー 11年4月相馬中村神社に移動 '12年12月原町区仲山トレセンに移動

菅野牧場は、原発から20<sup>km</sup>圏内にあり地震の翌日には避難指示が出された。4月22日に警戒区域に設定され5月25日、一時立ち入り許可が出ている。現在も居住することはできない。

菅野牧場はもともと肥育牛を育てている牧場で、動物好きの菅野さんが牛舎内に10馬房ほど造り馬を入れていた。

今は移動中の馬が3頭馬房に入っていたが、広い牛舎には一頭の牛もない。震災後、餌もなくやせ細り、売れることもできずに50数頭いた牛をやむなく安楽死させたのだ。

震災前、菅野さんはマイネルアムンゼンとマキバスナイパーの他6頭の馬を飼い、野馬追いに出たい人たちに貸していた。

馬だけでも避難させたいと願っていた菅野さんだが、その後功労馬の2頭は無事相馬中村神社に、他の馬も馬事公苑に避難させることができた。

牧場再開の目処はつかないが、菅野さんは避難先の郡山から自宅に通って牧場を守り続けている。

少しながらの慰めは、マイネルアムンゼンとマキバスナイパーが牧場の近くにある仲山トレセンに移動して会う機会が増えることだろうか。



厩舎のある高台に立つ菅野秀さん  
眼下の草地になっているのは手造りの馬の運動場 先の集落に自宅がある 30戸程の民家はどこも無人で家主を待っている



牛舎内にある馬房  
通いながら綺麗に整備する菅野さんは愛馬の帰る日を願う



営業休止中のガソリンスタンド  
小高区の国道沿いの商業施設は既に荒れ果てている



南相馬市馬事公苑  
被災馬の一時避難先として使用されている 2000m屋外走路、覆馬場など充実した施設

**東北馬事センター** 浦尻字中林崎

トーワヒヨシマル 岩瀬郡高倉ホースファームに移動後死亡

震災直後から避難先を探していた。本馬は県内に移動したが、間もなく死亡。

**いろはファーム(佐藤昭人)** 小屋木字前畑

ピットファイター 一時会津に避難 その後帰厩し'11年4月日高町に移動 '12年5月に原町区に移動

佐藤さんは本馬と共に、現在、原町区大原宅に避難中

**養命牧場(山田明弘)** 小屋木字前畑

ダイワデュール 被災直後に茨城県武田牧場に避難 その後つくば市みずほサラダ牧場に移動

被災時には、すぐに避難するが将来馬と戻りたいと語っていたが、現在、人馬とも避難中

**佐藤利和** 浦尻字中林崎

トーホウドリーム 岩瀬郡高倉ホースファームに移動

被災直後に移動 現在、佐藤さんも避難先に在住。

## 福島県南相馬市被災馬(功労馬)現況調査一覧 2012年12月2日現在

繋養地	繋養者	原発区域	繋養馬名 (※被災時の在厩馬)	状況	移動先等	生産牧場
南相馬市	鹿島区角川原字北河原 荒 正人	指定区域外	ロードアトラス※	死亡	移動なし 9月死亡	米国
南相馬市	鹿島区南右田字谷地 菅野牧場(長八)	指定区域外	ハリズコメット※	死亡	被災時に津波に流され死亡	門別 中川牧場
南相馬市	鹿島区小山田柿ノ内 濱名邦弘(ハマナ牧場)	指定区域外	マイネルシーガル※	在厩	千葉県香取市移動後5月に帰厩	小川豊美
南相馬市	原町区北原字平 大瀧馬事苑(大瀧康正) ベストメンバー茨城大瀧馬事苑に在厩	30K内	ストロングブラッド※ マーベラスタイマー※ タマモヒビキ※ ナイスナイスナイス※	移動 在厩 在厩 在厩	茨城常総ホースパークに移動 8月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩 8月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩 8月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩	千代田牧場 ヤマオカ牧場 新冠伊藤牧場 富田牧場
南相馬市	原町区深野仲山宮平 佐藤 徳 (仲山トレセン)	30K内	グラスワールド※ メジロマイヤー※ (マイネルアムンゼン) (マキバスナイパー)	在厩 在厩 入厩 入厩	8.9日高町法理牧場に移動 5月帰厩 8.9日高町法理牧場に移動 5月帰厩 菅野牧場より相馬市中村神社へ移動後'12.12月再移動 菅野牧場より相馬市中村神社へ移動後'12.13月再移動	米国 メジロ牧場
南相馬市	原町区牛越字東北 TAKANO厩舎 (高野徳明)	30K内	トーセンシャナオー※ (メイショウムネリ)	在厩 入厩	8月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩 今野厩舎より一時入厩	三城牧場
南相馬市	原町区陣ヶ崎 今野厩舎(立川春男)		メイショウムネリ※	移動	8月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩	伏木田牧場
南相馬市	原町区本陣前 前田敏文 (前田ステーブル)		フジサイレンス※ アドマイヤフジ※	移動 移動	千葉県 イグレットへ移動 後帰厩 プレーブステイブルに移動 千葉県 イグレットへ移動 後帰厩 今田賢一に移動 県外移動	清水スタッド 辻牧場
南相馬市	原町区高倉字志津 ホシファーム(星 英二)	30K内	ランザローテ※ ブリリアントロード※ メイショウレグナム※ マンボツイスト※	死亡 在厩 在厩 在厩	9月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩 7月死亡 9月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩 9月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩 9月日高町五輪育成牧場に移動 12年5月帰厩	ノーザンファーム 大栄牧場 浦河 西田牧場 米国
南相馬市	原町区下高平字谷中 松浦ライディングセンター (松浦秀昭)	30K内	サブジェクト※ ノーリーズン※ キネティクス※ ワンダフルデイズ※ ゴッドオブチャンス※ ブレイブテンダー※	在厩 在厩 在厩 在厩 在厩 在厩	移動なし 宇都宮大学に移動 5月帰厩 移動なし 移動なし 移動なし 移動なし	ノースヒルズマネジメント ノースヒルズマネジメント 笹島政信 米国 三石川上牧場 米国
南相馬市	原町区牛来 南相馬ふれあい牧場 (門馬 清人)	30K内	トーセندانディ※ ペガサス※ エンゲルグレーセ※ ユビキタス※	在厩 死亡 在厩 在厩	栃木千本松牧場へ移動。6月帰厩 栃木千本松牧場へ移動。6月移動先で死亡 栃木千本松牧場へ移動。6月帰厩 栃木千本松牧場へ移動。6月帰厩	小倉光博 早田牧場 マツケン農場 三石 村上牧場
南相馬市	原町区北原字平 今田賢一	30K内	アンドウオール※ ディープサマー※	移動 移動	岡山県岡山市南区箕島 グレースライディングクラブへ移動 岡山県岡山市南区箕島 グレースライディングクラブへ移動	社台ファーム マークリ牧場
南相馬市	小高区浦尻字中林崎 東北馬事センター(避難中)	20K内	トーフヒヨシマル※	死亡	岩瀬郡鏡石町岩瀬牧場内高倉ホースファームに移動後死亡	新冠 村本牧場
南相馬市	小高区小屋木字前畑 いろはファーム(佐藤昭人 避難中)	20K内	ピットファイター※	移動	4月避難勧告により会津に移動 日高町に移動 12月原町区に移動	社台ファーム
南相馬市	小高区小屋木字前畑 養命牧場(山田明弘 避難中)	20K内	ダイワデュール※	移動	茨城牛久市武田牧場に移動 つくば市みずほサラダ牧場に移動	谷川牧場
南相馬市	小高区小谷字入道草 菅野牧場(菅野秀 避難中)	20K内	マイネルアムンゼン※ マキバスナイパー※	移動 移動	4月相馬中村神社に移動後、12年12月、仲山トレセンに移動 4月相馬中村神社に移動後、12年12月、仲山トレセンに移動	ビッグレッドファーム 千葉新田牧場
南相馬市	小高区浦尻字中林崎 佐藤利和(避難中)	20K内	トーホウドリーム※	移動	福島県岩瀬郡鏡石町 岩瀬牧場内高倉ホースファームに移動	門別 三輪稔